

各 位

上場会社名 株式会社マツヤ
 代 表 者 代表取締役社長 小山 栄造
 (コード番号 7452)
 問合せ先責任者 執行役員財務本部長 北川 正一
 (TEL 026-241-1314)

平成 27 年 2 月期 第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 4 月 18 日に公表いたしました平成 27 年 2 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が発生いたしましたので、お知らせいたします。また、最近の業績動向等をふまえ、平成 27 年 2 月期通期の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 27 年 2 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値との差異 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,400	7	△77	△44	△6.26
実績 (B)	16,368	71	△18	△137	△17.35
増減額 (B-A)	△32	64	59	△93	
増減率 (%)	△0.2	914.3	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 2 月期第 2 四半期)	19,100	115	45	25	3.63

平成 27 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	31,700	199	35	33	4.69
今回修正予想 (B)	31,700	199	35	△100	△12.60
増減額 (B-A)	0	0	0	△133	
増減率 (%)	0	0	0	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 2 月期)	36,896	137	△89	△2,297	△326.66

平成 27 年 2 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想数値との差異 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,400	7	△90	△60	△8.53
実績 (B)	16,368	72	△29	△151	△19.06
増減額 (B-A)	△32	65	61	△91	
増減率 (%)	△0.2	928.6	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 2 月期第 2 四半期)	19,100	118	35	9	1.37

平成 27 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	31,700	200	8	0	0.00
今回修正予想（B）	31,700	200	8	△133	△16.76
増減額（B－A）	0	0	0	△133	
増 減 率（％）	0	0	0	－	
（ご参考）前期実績 （平成 26 年 2 月期）	36,896	145	△36	△2,256	△320.80

修正の理由

1. 個別業績予想修正の理由

当第 2 四半期累計期間における売上高は、不採算店舗 6 店舗の閉鎖および競合他社等による影響も想定しており、概ね当初計画に近い実績となりました。一方、経費面では、消耗品を中心に販売費及び一般管理費の削減を推し進めた結果、営業利益、経常利益ともに当初予想数値を上回りました。しかしながら、当初賃貸を計画した長野南店（平成 26 年 4 月閉鎖）の店舗建物を利用する賃貸先が見つからず、次善の策として売却も検討いたしましたが、売却先も見つからなかったことから、当該店舗建物を取り壊し、敷地の賃貸借契約を解除することといたしました。これにより、当該店舗建物等の評価について検討を行い減損損失として計上した結果、四半期純利益に差異が生じたものであります。（上記の減損損失については、平成 26 年 9 月 9 日付「特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください）

通期の業績予想におきましては、最近の業績動向等を考慮し、売上高は当初計画に近いものと予想しております。一方、その他閉鎖店舗の店舗建物の賃貸先が見つからないこと等から第 3 四半期以降に見込んでいた賃料収入の減少が想定され、ロス削減等による粗利益率の改善や消耗品を中心とした諸経費の削減に努めることで、賃料収入の減少による影響を最小限とすることとしております。そのため、営業利益、経常利益の業績予想は当初計画を据え置き、上記第 2 四半期の特別損失発生の事由により当期純利益の業績予想を修正するものであります。

2. 連結業績予想修正理由

個別の修正に伴うものであります。

（注）上記の予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成しております。実際の業績は様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上